

■(藤原)近衛基通 摂関家公卿。平氏に擁立されながら、後白河法皇から鍾愛され、源氏政権後も九条兼実に対抗した。

このえもとみち

・・・・・・1160＝ 生。父は摂政近衛基実。母は大蔵卿藤原忠隆の娘。

・・・・・・1165＝ 5歳：父が死去。

清盛太政大臣1167＝ 7歳：

後白河出家・1169＝ 9歳：

・・・・・・1170＝10歳：叙爵。

侍従・近衛を経て、右中将から、

藤原頼通没・1174＝14歳：従三位(非参議)に叙す。

・・・・・・1178＝18歳：

治承のクーデタ 1179＝19歳：\*納言を経ず、内大臣に進み、同時に内覧・関白となる。この異例の昇進には、かねてからの後白河法皇の鍾愛とともに、継母平盛子を通じて影響力を行使しようとする平氏の意向もあった。

源氏一斉蜂起1180＝20歳：\_安徳天皇即位にともない摂政となり、従一位に昇叙せられる。

後鳥羽天皇・1183＝23歳：\_平氏西走の際にはこれと行をともにせず、法皇の叡山逃脱をはかり、また西走の安徳天皇にかえて後鳥羽天皇を擁立。木曾義仲の法皇御所襲撃といわゆるクーデタに際してその職をとどめられたが、

・・・・・・1184＝24歳：\_義仲誅滅とともに摂政に復した。内乱から鎌倉初期、基通は一貫して法皇派として行動したが、その殊寵には九条兼実を筆頭とし反感、批判が多く、

平氏滅亡・・1185＝25歳：

九条兼実摂政1186＝26歳：\*前年の頼朝追討宣旨の責めを負って辞任、籠居に追い込まれた。これによって兼実が摂政となったが、法皇の強い庇護があって摂政家領はもとのごとく基通の手にとどめられた。のちの九条・近衛両家の摂政の対立はここに胚胎する。

藤原秀衡没・1187＝27歳：

奥州藤原滅亡1189＝29歳：

鎌倉幕府始・1192＝32歳：

\_兼実と幕府の提携が破れると、

建久7年政変 1196＝36歳：\*反兼実派土御門通親の動きにおされ、三たび浮上し関白となった。

・・・・・・1198＝38歳：\_土御門天皇の即位にともなって摂政に転じ、

源頼朝没・・1199＝39歳：

・・・・・・1202＝42歳：\*これを辞して、

執権政治始・1203＝43歳：

新古今集・・1205＝45歳：

・・・・・・1208＝48歳：出家、

北条頼朝権確立1213＝53歳：

職人歌合・・1214＝54歳：

運慶没・・1223＝63歳：

北条政子没・1225＝65歳：

御成敗式目・1232＝72歳：

・・・・・・1233＝73歳：\_没した。